



ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,
DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

Technical Service Data Sheet

水系 ボージンコート

薄膜水性1液型アクリル樹脂系塗床材

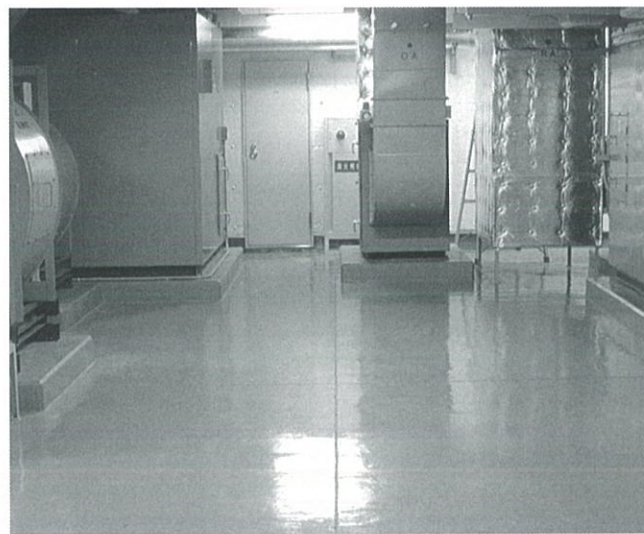
水系ボージンコートは、特殊アクリル樹脂エマルションを主成分としたモルタル・コンクリート及びアスファルト面用の水系光沢型塗床材です。水系ですので、作業性や安全性に優れ、しかも旧塗膜への付着性が良く、塗替用としても優れた性能を発揮します。

非TX

非鉛・クロム

文科省指定6非含有

厚労省指定13非含有



特長

- ホルムアルデヒドの放散量が少なく、日本塗料工業会の認定を受けています。日塗工登録番号 D01146
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆(規制対象外)
- 速乾性です。約4時間で軽歩行ができます。(20℃)
- 水系塗料ですので、引火の危険性がありません。また、非危険物ですので、貯蔵や保管にも場所を選びません。
- 光沢は溶剤型アクリル系塗料に匹敵します。
- 汚れがつきにくく、美しく鮮明な色調を長期にわたり保持します。
- 作業性がよく、はけ、ローラー、スプレーなどでどなたでも簡単に塗装ができます。
- 水希釈の塗料ですから取扱いが安全で簡便な上にシンナー臭がしませんので塗装作業が楽になります。
- 塗料中にPRTR対象物質を含んでいません。
- 豊富な標準色は、床面をきれいに塗り分けて作業の安全や効率の向上に役立ちます。

用途

- 一般工場及び倉庫の床
- 店舗、事務所などの床
- アスファルト面の防塵保護塗装

SINCE 1932.

DAIDO CORPORATION®

水系 ボージンコート

薄膜水性1液型アクリル樹脂系塗床材

標準塗装仕様

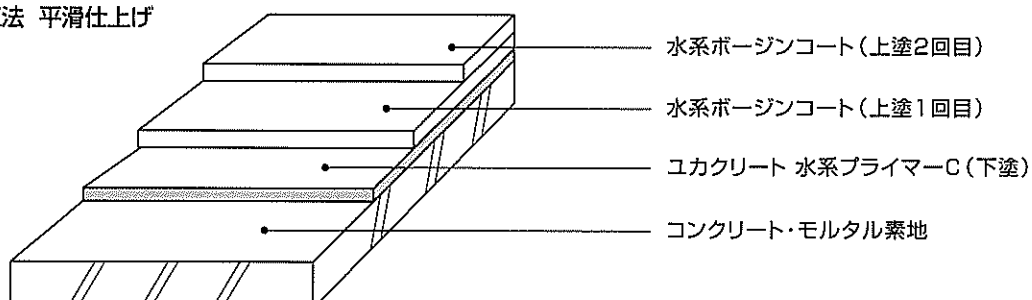
■新設コンクリートモルタル面の場合（コーティング工法 平滑仕上げ）

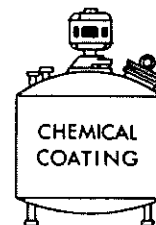
工程	品名	内容	塗付量 (kg/m ²)	塗装間隔 (20℃)
1 下地		下地モルタル及びコンクリートは金ゴテ仕上げで、十分強度のあるものとします。 通常、モルタルは打設後2週間以上、コンクリートは4週間以上の養生が必要です。		
2 下地処理		1. 含水調査はポリエチレンフィルムを床面に敷き、周囲をテープで密封して翌日（16時間後）開封する手順で行い、床面が黒っぽく濡れたりフィルムに結露していないこととします。また、含水率は、デジタル式水分計で5%以下を目安とします。 2. 必ず全面をサンドペーパーがけ（P24～P40）により目荒しを行い、汚染物やレイタンスなどを除去します。 3. 油脂、グリース、タールなどはシンナーか洗剤で除去します。 4. 必要に応じて、クラック、穴などを補修します。		
3 下塗	ユカクリート 水系プライマーC	希釈せず、はけ、ローラーで均一に塗装します。 （使用したはけ、ローラーは他の塗料に使用しないで下さい。）	0.10～0.20	4時間以上 7日以内
4 上塗 （1回目）	水系ボージンコート	塗料を清水で5～10%（質量）希釈し、ローラー、はけで塗装します。	0.15～0.20	2時間以上 7日以内
5 上塗 （2回目）	水系ボージンコート	塗料を清水で5～10%（質量）希釈し、ローラー、はけで塗装します。	0.15～0.20	
6 養生		養生期間中は出入口を封鎖し、歩行しないように注意します。 軽歩行可能時間 4時間以上（20℃）		

施工上の注意

1. 下地が新設モルタル以外の場合はご相談下さい。
2. デジタル式水分計は、（株）ケット科学研究所製造品を指しています。説明書に従って測定して下さい。
3. 下地の吸込みが多い場合はユカクリート水系プライマーCを表面が濡れ色になるまで、再度塗装して下さい。
4. 同一床面では休まず一気に仕上げして下さい。休むと色の差や段差ができることがあります。
5. 各工程の塗装完了後、現場を密閉しないで換気に努めて下さい。密閉した高湿度下では乾燥が遅延したり本来の塗膜性能が発揮されないことがあります。
6. 施工中は保護手袋を着用して下さい。塗料が皮膚に付着した場合は石鹸でよく洗って下さい。
7. 気温5℃以下や、相対湿度80%以上での施工は避けて下さい。
8. 屋外塗装では、降雪雨時、または夜露や塗装後24時間以内にその恐れがある場合は施工を避けて下さい。
9. 水系ボージンコートは凍結の恐れがありますので、保存中は0℃以下にならないようにして下さい。
10. ユカクリート 水系プライマーC
 - （イ）塗装したはけ、ローラーは、水系ボージンコートの塗装には使用しないで下さい。
 - （ロ）道具は使用后直ちに水で洗浄してください。洗いは水系ボージンコート等の水系塗料と別にして下さい。
 - （ハ）鉄を錆びさせますので、サゲツ等はプラスチック製のものが適しています。
 - （ニ）他の水系塗料との混合は避けて下さい。
11. 床面に貼り付けたラインテープを取り除く際、塗膜が剥れる場合があります。

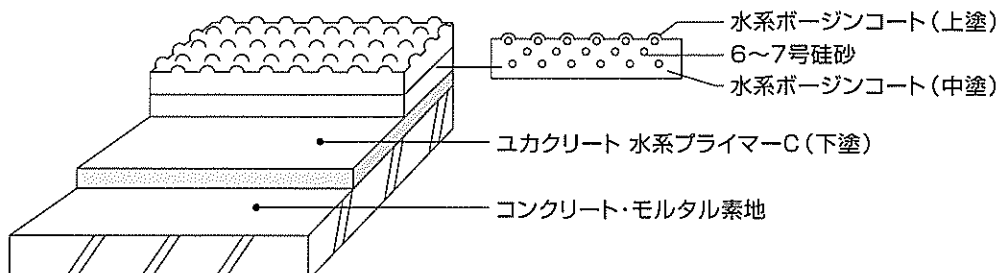
■コーティング工法 平滑仕上げ





■防滑仕上げ

中塗りを塗付し、直後に6～7号珪砂0.1～0.2kg/m²を散布して下さい。乾燥後、余分な珪砂を取り除き、さらに1～2回塗装して下さい。中塗りと砂散布は、特にムラのないよう注意して施工して下さい。



塗り替え時の注意

塗り替え時には必ず脱脂と目荒らしを行い、ユカクリート 水系プライマーCを清水で2倍に希釈して塗装して下さい。既存塗膜の種類によっては、密着しにくいものがありますので、あらかじめ試験塗装を行ってから施工して下さい。

■付着性の良い既存塗膜

- ポージンコートS、床美人のような溶剤1液型アクリル樹脂系の塗床材
- ユカクリートスタンダード、床雅のような溶剤2液型エポキシ樹脂系の塗床材
- 水系ポージンコートのような水性1液型アクリル樹脂系の塗床材

■付着性の悪い既存塗膜

- 厚膜型ウレタン樹脂系の塗床材

注意: 上記以外の既存塗膜及び既存塗膜が不明の場合や、汚染のひどい場合はご相談下さい。
既存塗膜の判定はユカクリート下地処理基準(別冊)をご参照下さい。

性能

項目		結果	備考
鏡面光沢度		70	JIS K 5600-4-7
乾燥時間	指触	25分	23℃、50%RH
	半硬化	2時間	
鉛筆引っかき値		F	JIS K 5600-5-4
耐おもり落下性		合格	JIS K 5600-5-3-6 1/2インチ 500g 50cm
耐摩耗性		71mg	JIS K 5600-5-9 CS-17 4.9N 1000回転
		159mg	日本塗床工業会 CS-17 9.8N 1000回転
耐水性		異常なし	水道水 6時間浸漬
耐アルカリ性		異常なし	2%かせいソーダ水溶液 6時間浸漬
促進耐候性		異常なし	サンシャイン ウェザオメーター 1000時間

※塗膜物性の試験結果は実測値であり、保証値ではありません。

ホルムアルデヒド放散等級

ユカクリート 水系プライマーC	F☆☆☆☆	日塗工登録番号	D01212
水系ポージンコート	F☆☆☆☆	日塗工登録番号	D01146

Technical Service Data Sheet

ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES, DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING SUPERIOR PRODUCTS
AND SERVICE.

水系 ボージンコート 薄膜水性1液型アクリル樹脂系塗床材



標準色

No.10 グリーン	No.11 パームグリーン	No.13 パウダーブルー
No.14 ベネチャンレッド	No.17 グレー	No.18 ターフグリーン
No.20 モスグリーン	No.21 エメラルドグリーン	No.22 ライトグリーン
No.23 ペールグレー	No.24 ライトグレー	No.26 ライトブラウン
No.27 クリーム	No.28 ライトベージュ	No.29 グラスグリーン
No.30 オリーブグリーン	● ライン用イエロー	

※ユカクリート、ボージンコート標準色見本帳をご参照下さい。

容量と塗装面積

品名	容量	塗装面積
ユカクリート 水系プライマーC	15kg (4kgあり)	75~150 (m ² /1回/1缶)
水系ボージンコート	15kg (4kgあり)	37~50 (m ² /2回/1缶)

その他の注意

- 1.台車が通行したり使用頻度の高い床面では、塗膜の摩耗くずを生じることがありますので、定期的な清掃にご留意下さい。
- 2.さらに高度な塗膜性能をお求めの場合は、2液型塗料や厚膜型塗料をご検討下さい。
- 3.施工に当たり現場固有の事象がある場合や塗料の性質・性能・使用方法につきご質問があるときは、事前にお問い合わせ下さい。



SINCE 1932.

大同塗料株式会社

ISO 9001 (滋賀工場)

本社	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06 (6308) 6288 FAX.06 (6308) 3618
東京支店	〒135-0031	東京都江東区佐賀1丁目18番8号	TEL.03 (3642) 8431 FAX.03 (3643) 5560
名古屋支店	〒452-0962	愛知県清須市春日流77番地1	TEL.052 (409) 8711 FAX.052 (409) 8716
大阪支店	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06 (6308) 6281 FAX.06 (6308) 3512
エンジニアリング事業部	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06 (6308) 4011 FAX.06 (6308) 6416
福岡営業所	〒812-0051	福岡市東区箱崎ふ頭5丁目8番18号	TEL.092 (641) 2025 FAX.092 (641) 4022
札幌営業所	〒061-3244	石狩市新港南3丁目704番地8	TEL.01133 (76) 6177 FAX.01133 (76) 6178
仙台営業所	〒981-0904	仙台市青葉区旭ヶ丘1丁目42番55号	TEL.022 (272) 1323 FAX.022 (272) 1324
千葉営業所	〒270-1403	千葉県白井市河原木戸場364番地13	TEL.047 (492) 1901 FAX.047 (492) 1903
神奈川営業所	〒252-0244	神奈川県相模原市中央区田名2507番地10	TEL.042 (764) 4835 FAX.042 (764) 4836
滋賀営業所	〒524-0051	滋賀県守山市三宅町561番地	TEL.077 (583) 2234 FAX.077 (583) 3964
姫路営業所	〒670-0073	兵庫県姫路市御立中5丁目12番22号	TEL.079 (299) 5959 FAX.079 (299) 5960
広島営業所	〒733-0833	広島市西区商工センター4丁目5番15号	TEL.082 (277) 6464 FAX.082 (277) 6461

本社工場	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06 (6308) 6281 FAX.06 (6308) 3512
滋賀工場	〒524-0051	滋賀県守山市三宅町561番地	TEL.077 (583) 2234 FAX.077 (583) 3964



製品の規格及び仕様は改良等のため
予告なく変更する場合があります。

50-1014

'17.02.29版 3,000N